

# 環境経営レポート 2023

対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日

発行日 2023年8月16日



いわて第2クリーンセンター施設写真



環境王国「いわて」を担う

いわて県北クリーン株式会社

## もくじ

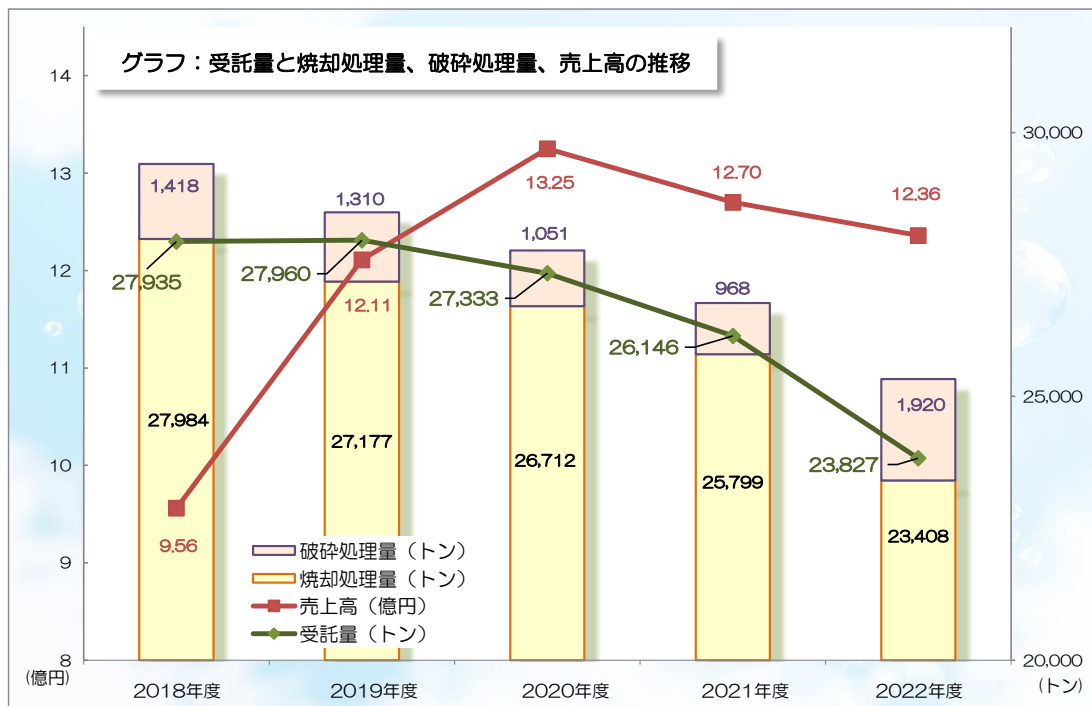
1. 会社概要	P1
2. 事業概要	P2
3. 施設概要と特徴	P3
4. 許可品目	P5
5. 環境経営方針	P6
6. 組織図	P7
7. 役割と責任・権限	P7
8. 環境目標と活動実績	P8
9. 環境活動の結果と評価	P8
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	P13
11. 代表者による全体の評価と見直し	P13
12. イベント、セミナー、教育等	P13
13. 資格・免許・認定	P16

## 1. 会社概要 (2023年8月16日現在)

会社名 : いわて県北クリーン株式会社  
施設名 : いわて第2クリーンセンター  
所在地 : 〒028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第20地割48番地34  
代表者 : 代表取締役 生藤 勇  
業務開始 : 2009年4月(設立:2006年4月)  
資本金 : 9,000万円  
株主 : 株式会社タクマ ・ 株式会社タクマテクノス ・ 西松建設株式会社  
事業内容 : 産業廃棄物中間処理業・産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物処理業・売電事業  
従業員数 : 44名  
事業面積 : 約70,000㎡  
EA21 認証登録範囲 : 全組織 ・ 全活動  
環境管理責任者 : 村田 英敏 ・ コミュニケーション窓口 : 田村 一人  
TEL 0195-42-4085 FAX 0195-42-4550  
Mail [info@iwate2cln.co.jp](mailto:info@iwate2cln.co.jp) URL <http://www.iwate2cln.co.jp>

## 会社の沿革

2006年 4月 12日	株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス、西松建設株式会社の出資により設立
2007年 10月 30日	環境大臣による廃棄物処理センター指定
2008年 3月 29日	産業廃棄物処理施設 設置許可取得
2009年 1月 7日	産業廃棄物処理施設 処分業許可取得 (許可番号: 00329146787)
2009年 1月 7日	特別管理産業廃棄物処理施設 処分業許可取得 (許可番号: 00379146787)
2009年 4月 1日	事業開始
2009年 6月 8日	一般廃棄物処理施設 処分業許可取得
2009年 6月 30日	基準適合産業廃棄物処理業者認定 (中間処理★★取得)
2010年 2月 15日	エコアクション21取得
2012年 8月 30日	いわて地球環境にやさしい事業所認定 (★★★★取得)
2014年 7月 23日	産業はお気物処理施設 設置許可取得 (破碎施設 1)
2014年 11月 11日	産業廃棄物処分業 事業範囲 変更 (破碎中間処理追加)
2015年 5月 15日	産業廃棄物処理施設 設置許可取得 (破碎中間処理施設設置 2)
2015年 5月 28日	産業廃棄物処分業許可品目追加 (燃え殻、動物のふん尿)
2022年 3月 4日	九戸村、タクマエナジーと「CO <sub>2</sub> フリー電力の普及等に関する協定」を締結
2022年 5月 13日	産業廃棄物処分業 事業範囲 変更 (圧縮処理追加)
2022年 11月 29日	産業廃棄物収集運搬業 (岩手県) 取得 (許可番号: 00309146787)
2023年 3月 2日	特別管理産業廃棄物収集運搬業 (岩手県) 取得 (許可番号: 00359146787)
2023年 6月 23日	基準適合産業廃棄物処理業者認定 (中間処理★★★、収集運搬★★取得)



## 2. 事業概要

本事業は、岩手県を発注者とする PFI 事業で運営を行っており、多種多様な廃棄物を適正に処理するための「焼却設備」・「熔融設備」・「破碎設備」・「圧縮設備」によって、様々な性状に対応が可能となっています。

処理施設は万全の環境保全対策が施された処理システムにより、安定的かつ安心な施設となっています。

### 3. 施設概要と特徴

施設名称 : いわて第2クリーンセンター  
設置規模 : ローターキルン&ストーカ炉 87.9 t/日 ×1 基  
燃料式表面溶融炉 13t/日 ×1 基  
破碎施設 ×3 施設  
圧縮施設 ×1 施設  
ボイラー型式 : 三胴式廃熱ボイラー  
最高使用圧力 : 3.30 MPa  
常用使用圧力 : 2.90 MPa  
蒸気温度 : 241℃  
最大蒸発量 : 10.2 t/h  
タービン形式 : 復水タービン  
最大発電出力 : 840 kW  
排ガス規制値

種類	法規制値	自主管理値
ダイオキシン類(ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	1.0	0.1
硫黄酸化物(ppm 以下)	3,761 (K 値 17.5)	50 (K 値 0.25)
窒素酸化物(ppm 以下)	250	100
塩化水素(ppm 以下)	430	80
ばいじん(g/m <sup>3</sup> N 以下)	0.08	0.02

#### 多種多様な廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の適正処理

- ◎ 高温処理による完全燃焼と無害化
  - ・焼却炉内温度 850℃以上（自主管理値） ※法規制値 800℃以上
  - ・溶融炉内温度 1300℃以上

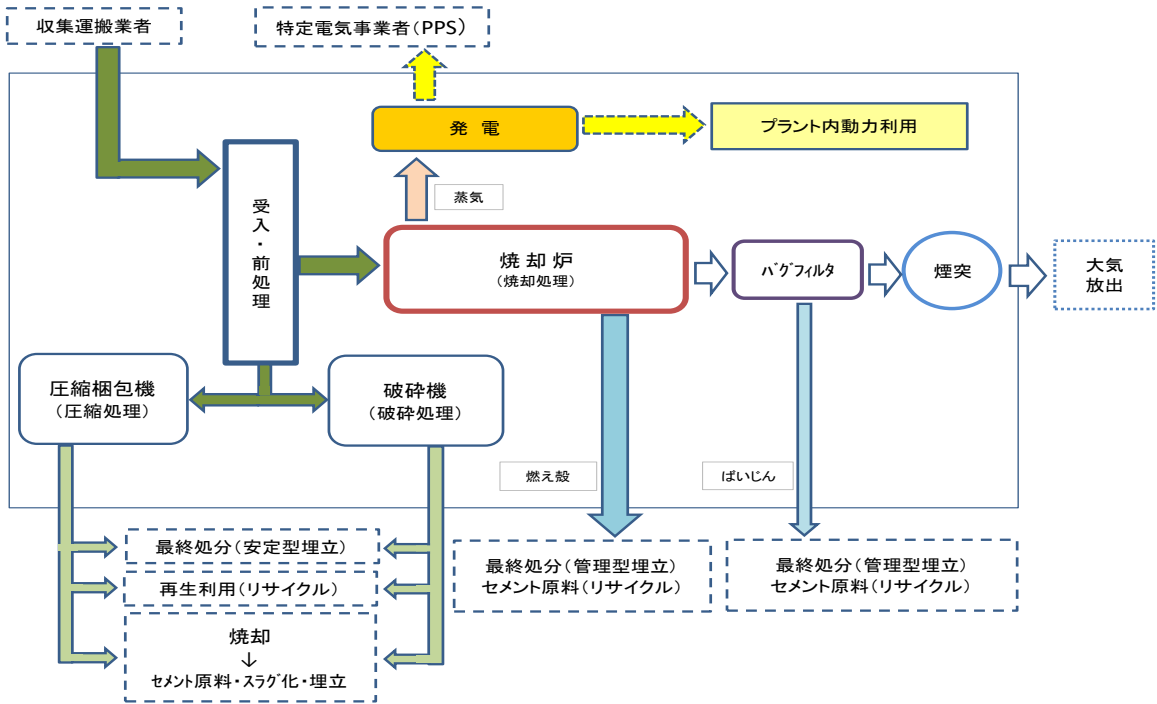
#### 省エネ・資源リサイクルの促進

- ◎ 蒸気タービン発電機 最大 840 kW（発電設備） ※廃熱ボイラー蒸気利用  
施設内で使用する電力の全量供給及び余剰電力の売電

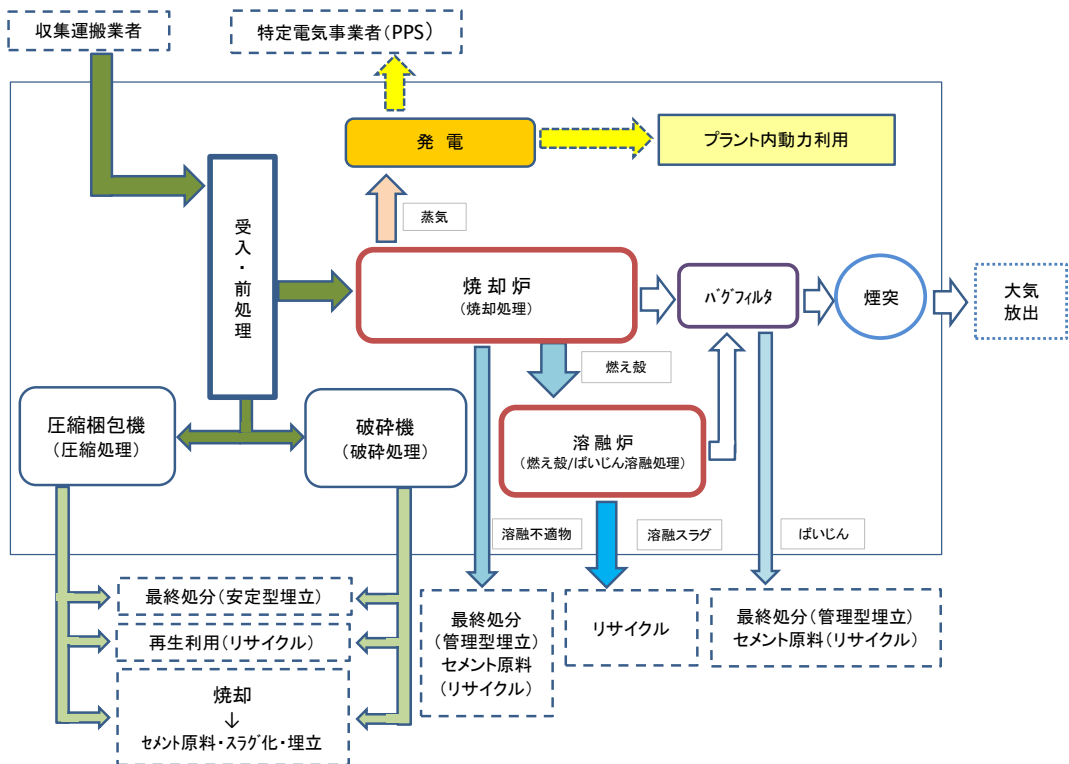
#### 周辺環境への配慮

- ◎ 排ガスは環境にやさしい管理値を設け、地域環境保全に配慮
- ◎ クローズドシステムによりプラント排水及び生活排水は施設内において再利用し、場外へは無放流
- ◎ 騒音・振動の発生を抑制した設備の導入及び防音材設置や振動対策床基礎の導入
- ◎ 臭気を外部に放出させない換気システム

いわて第2クリーンセンター  
いわて県北クリーン株式会社 処理フロー（焼却・破碎・圧縮）



いわて第2クリーンセンター  
いわて県北クリーン株式会社 処理フロー（焼却・破碎・圧縮・溶融）



#### 4. 許可品目

許可取得自治体	岩手県	岩手県	岩手県	岩手県	二戸地区広域行政事務組合
許可の種類	産業廃棄物処分量	特別管理産業廃棄物処分量	産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物収集運搬業	一般廃棄物処理業
許可番号	00329146787	00379146787	00309146787	00359146787	-
許可の年月日	R4(2022).10.14	H31(2019).1.7	R4(2022)11.29	R5(2023)3.2	R5(2023).6.8
許可期限	R6(2024).1.6	R6(2024).1.6	R9(2027)11.28	R10(2028)3.1	R7(2025).6.7

許可の種類	産業廃棄物処分量				特別管理産業廃棄物処分量		産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物収集運搬業	一般廃棄物処理業
	中間処理(焼却)	中間処理(溶融)	中間処理(破砕)	中間処理(圧縮)	中間処理(焼却)	中間処理(溶融)			
業の区分/許可品目									中間処理(焼却)
燃え殻	○				○		○	○	
汚泥	○	○			○	○	○	○	
廃油	○				○		○	○	
廃酸	○				○		○	○	
廃アルカリ	○				○		○	○	
廃プラスチック類	○	○	○	○			○		
紙くず	○		○	○			○		
木くず	○		○				○		
繊維くず	○		○	○			○		
動植物性残さ	○						○		
ゴムくず	○		○				○		
金属くず	○		○				○		
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	○		○	○			○		
動物のふん尿	○						○		
動物系固形不要物	○						○		
がれき類			○						
鉱さい							○		
感染性廃棄物					○			○	
廃石綿等								○	
ばいじん								○	
一般廃棄物									○



## 5. 環境経営方針

### 《 基本理念 》

いわて県北クリーン株式会社は、多種多様な廃棄物を安全かつ適正に処理する事業を社会インフラとして捉え、地域の社会経済活動を支えるとともに、省エネ・創エネの促進に努めます。また、災害時には被災地の復興に最大限の協力をします。

### 《 行動指針 》

1. 廃棄物を資源として捉えたりサイクルや、熱エネルギーを有効に利用した環境負荷の低減による地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。
2. 事業活動にかかわる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
  - (1) 安定した電力供給に努めます。
  - (2) 二酸化炭素の排出量削減に努めます。
  - (3) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
  - (4) 水の使用量削減に努めます。
  - (5) 化学物質の適正使用に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境経営方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を求め、積極的に取り組みます。

制定：2010年5月1日

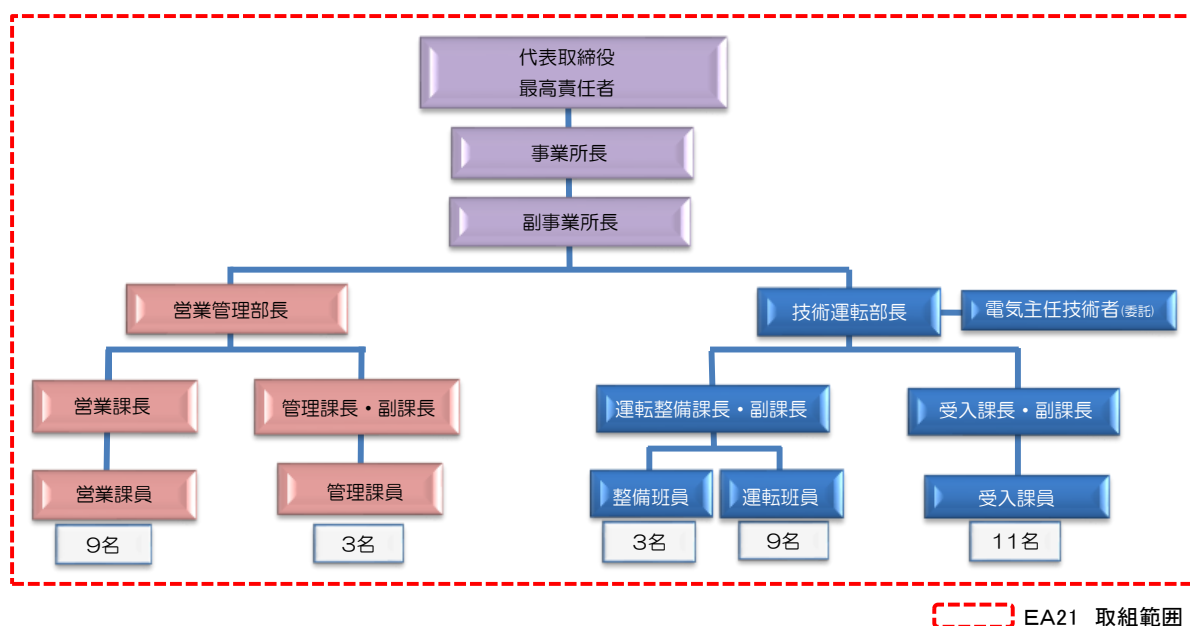
改訂：2020年7月1日

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 生藤 勇



## 6. 組織図 (2023年8月16日現在)



## 7. 役割と責任・権限

役割	担当者	役割と責任・権限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者の任命 ②環境管理責任者から報告を受けて全体の見直し ③取組みに対する資源を用意 ④環境方針を作成する
環境管理責任者	事業所長	①代表者に代わって環境管理システムを構築し運営 ②関連法規の把握をして代表者に情報を報告 ③必要な教育訓練を計画し実施
E A21 事務局	管理課 EA21 担当者	①環境管理責任者に代わってデータ収集 ②各部署へE A21 の目標数値を周知 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者へ報告
防災責任者	防火管理者	①防災計画の立案 ②火元責任者の選任
安全運転管理者	副事業所長	①安全運転のために必要な教育・訓練の実施 ②エコドライブの積極的な推進
各部門長	営業管理部長 技術運転部長	①取組み項目の把握及び実施状況の確認 ②各部署へ取組み項目の達成状況を周知 ③必要に応じて各取組み項目の是正及びその指示 ④環境配慮・緊急事態に関する予防措置
社員	全社員	①取組み項目に対して積極的に実施 ②環境保全活動への積極的な参加



## 8. 環境目標と活動実績

中長期の環境経営目標の策定

No.	項目	単位	基準値 2020年	中期目標 2022年度	中期目標 2023年度	長期目標 2024年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	6.7	30.8	5.8	5.8
2	重油使用量の削減	ℓ/t	1.09	1.02	1.01	1.00
3	軽油使用量の削減	ℓ/t	3.09	2.90	2.90	2.90
4	ガソリン使用量の削減	ℓ/t	0.26	0.25	0.24	0.23
5	上水使用量の削減	m <sup>3</sup> /t	0.34	0.26	0.25	0.24
6	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /t	14.6	35.0	15.5	14.6
7	発電電力量の増加	kWh/t	220.2	130.1	224.4	229.0
8	廃棄物受託量の増加	t/年	27,333	25,700	28,000	28,200
9	化学物質の削減	ℓ/年	98.0	119.0	119.0	119.0

各年度目標値に対する達成度

■ 目標達成
 ■ 目標未達  
 ※達成判定は90%以上とする

No.	項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	4.5	6.3	6.7	80.6	43.6
2	重油使用量の削減	ℓ/t	0.89	2.05	1.44	1.03	0.30
3	軽油使用量の削減	ℓ/t	2.37	3.24	3.09	2.76	3.19
4	ガソリン使用量の削減	ℓ/t	0.32	0.35	0.26	0.31	0.31
5	上水使用量の削減	m <sup>3</sup> /t	0.48	0.51	0.34	0.27	0.23
6	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /t	12.8	16.1	16.3	48.4	30.2
7	発電電力量の増加	kWh/t	222.9	235.5	220.2	64.3	129.2
8	廃棄物受託量の増加	t/年	27,935	27,960	27,333	26,146	23,827
9	化学物質の削減	ℓ/年	118.8	89.1	98.0	106.9	115.8

## 9. 環境活動の結果と評価

### 1. 受電電力量の削減

2022年度 目標 30.8kWh/t  
 2022年度 実績 43.6kWh/t  
 2022年度 総量 1,104,650kWh  
 達成率 70.6% (未達)

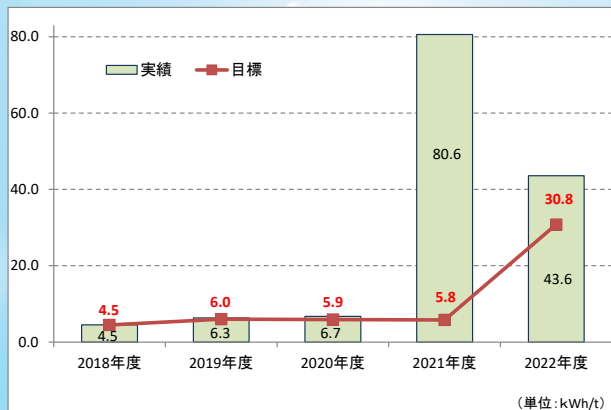
NG

#### 取組内容

- ・こまめに電気を消す。
- ・安定した燃焼管理をし、発電出力を維持することにより受電の削減を行う。  
(※故障中の蒸気タービン発電機が、9月から稼働することとして目標値を設定)

#### 活動結果と評価

- ・4～8月の蒸気タービン発電機の稼働がない時期の受電電力量が予想以上に多かった。
- ・冬季の凍結防止ヒーターのON/OFF管理による電力削減については実施できた。



< 2023年度 目標 0.35kWh/t >

#### 取組内容

- ・来期から、施設が定常運転の時だけを集計する。
- ・安定した燃焼管理により発電出力を維持し、受電電力量を削減する。

## 2. 重油使用量の削減

2022年度 目標 1.02 ℓ/t  
 2022年度 実績 0.30 ℓ/t  
 2022年度 総量 7,574 ℓ  
 達成率 341.1% (達成)

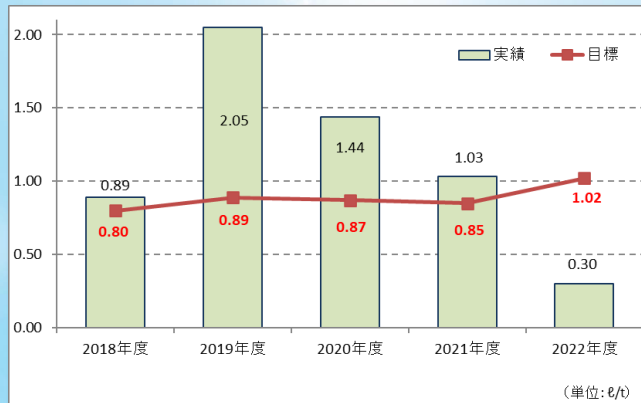
OK

### 取組内容

・焼却炉へ常に適切な量のごみの供給をし、炉温低下を防ぎバーナー使用による重油使用を抑える。

### 活動結果と評価

設備の不具合が解消されたことによりバーナー使用が減少した。また適切な量のゴミを供給することを意識し、再生油を利用しバーナー使用を抑えた。  
 目標設定値の見直しを検討する。



< 2023年度 目標 0.28 ℓ/t >

### 取組内容

・適切な量のゴミを供給することの意識と、再生油の利用によってバーナー使用を抑える。

## 3. 軽油使用量の削減

2022年度 目標 2.90 ℓ/t  
 2022年度 実績 3.19 ℓ/t  
 2022年度 総量 80,820 ℓ  
 達成率 90.9% (達成)

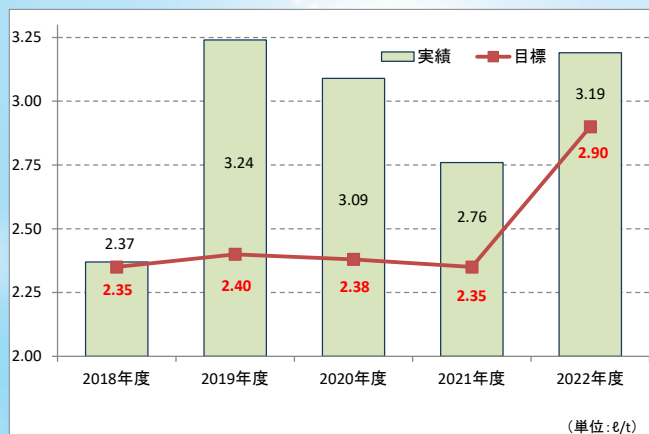
OK

### 取組内容

・圧縮施設の稼働開始により、重機等の台数が増えている中で削減するため、重機、破碎機の作業時間の短縮等、運用の変更を検討する。

### 活動結果と評価

作業時間の短縮、無駄な作業を行わなかったため、ギリギリだったが達成することができた。



< 2023年度 目標 3.16 ℓ/t >

### 取組内容

・作業時間の短縮と無駄な重機の使用を避け、達成できるように努力する。

## 4. ガソリン使用量の削減

2022年度 目標 0.25ℓ/t  
 2022年度 実績 0.31ℓ/t  
 2022年度 総量 7,275ℓ  
 達成率 81.9% (未達)

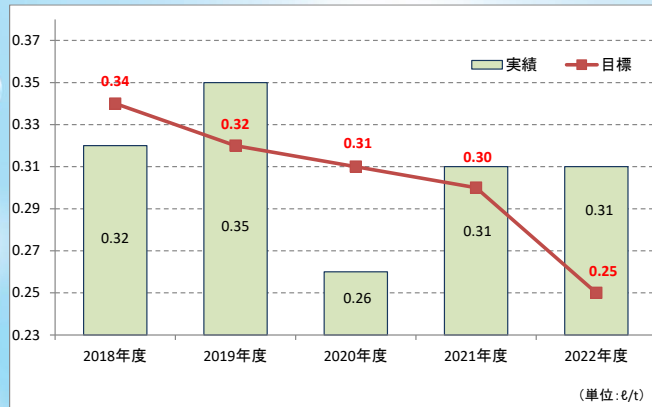


### 取組内容

・セーフティドライブ及びエコドライブを常に意識し、運航計画に基づいた運転に務める。

### 活動結果と評価

・コロナの陽性者数の減少に伴い、出張及び各種講習等への参加増による社用車の使用頻度増加に起因した結果と考える。今後社用車の使用頻度が増していく中であっても、エコドライブの徹底を中心にガソリン使用量の削減に努める。



< 2023年度 目標 0.26ℓ/t >

### 取組内容

・エコドライブの徹底（急発進、急加速、急停止の防止）  
 ・アイドリングストップの徹底  
 ・計画的な社用車運用の徹底  
 ・車内積載物の整理整頓

## 5. 上水使用量の削減

2022年度 目標 0.26m<sup>3</sup>/t  
 2022年度 実績 0.23m<sup>3</sup>/t  
 2022年度 総量 5,732m<sup>3</sup>  
 達成率 114.9% (達成)

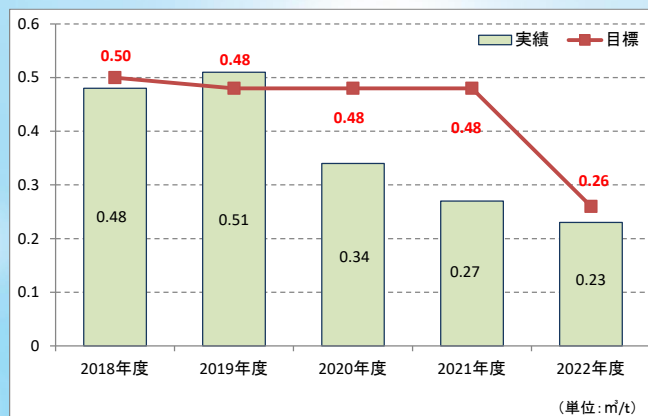


### 取組内容

・雨水の有効利用と水槽レベル監視強化により、上水使用量を削減する。

### 活動結果と評価

・最終水ポンプの送水配管の盛替えに伴う凍結防止ヒーターの設置およびヒーター使用による配管内の水の凍結が全くなかった事と、調整池の水中ポンプのこまめな点検を行った。



< 2023年度 目標 0.23m<sup>3</sup>/t >

### 取組内容

・継続して調整池の水の利用及び水位確認と、水槽レベルの監視を行う。

## 6. 温室効果ガス排出量の削減

2022年度 目標 35.0 kg-CO<sub>2</sub>/t  
 2022年度 実績 30.2 kg-CO<sub>2</sub>/t  
 2022年度 総量 764 t-CO<sub>2</sub>  
 達成率 116.0% (達成)

OK

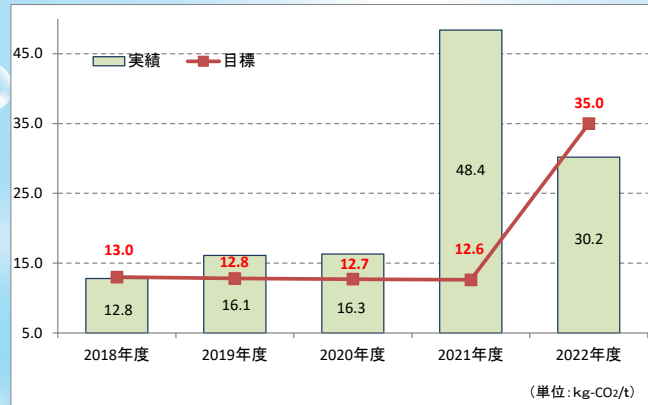
### 取組内容

・蒸気タービン発電機の早期復旧、各燃料類の使用量を削減し、CO<sub>2</sub>削減に努める

### 活動結果と評価

・重油使用量を大きく削減できたことが最大の要因。また蒸気タービン発電機の復旧後は安定した発電を継続し、受電を最小限としたことが目標達成の要因となった。

令和3年度の電気事業者別二酸化炭素  
 排出係数 0.469 kg-CO<sub>2</sub>/kWh とする



< 2023年度 目標 13.4 kg-CO<sub>2</sub>/t >

### 取組内容

・施設の安定稼働により受電電力量と重油使用量を削減し、重機等の運用の見直しを行い軽油の使用量の削減をする。それにより施設からの温室効果ガス排出量を削減する。

## 7. 発電電力量の増量

2022年度 目標 130.1kWh/t  
 2022年度 実績 129.2kWh/t  
 2022年度 総量 3,271,770 kWh  
 達成率 99.3% (達成)

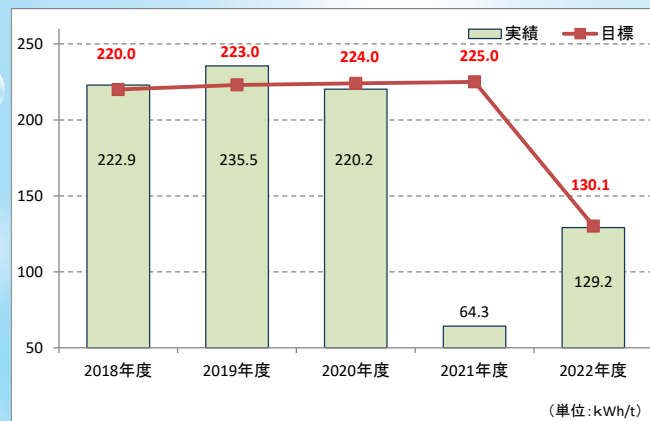
OK

### 取組内容

・早期の蒸気タービン発電機の稼働を目指す。  
 ・稼働後は、効率的な運転を心がけて、発電電力量の増量に務める。

### 活動結果と評価

・ゴミの均一化が出来、安定した発電が出来たので、目標を達成できた。



< 2023年度 目標 224.4 kWh/t >

### 取組内容

・引き続き安定した発電が出来るように、焼却炉運転をする。

## 8. 廃棄物搬入量の増量

2022年度 目標 25,700 t  
 2022年度 実績 23,827 t  
 達成率 92.7% (達成)

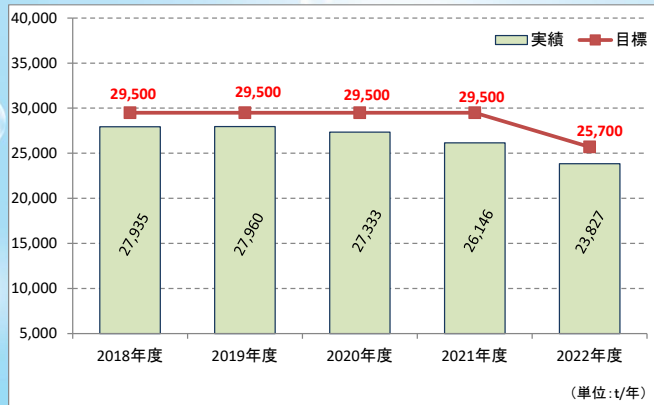
OK

### 取組内容

- ・排出者に対し、当社の処理施設を活用した「環境に対する課題解決」の提案を行う
- ・ゼロエミッション、セメント原燃料化を推進し安定した物量増加を狙う

### 活動結果と評価

プラリサイクルの動きや県内全体の解体工事等の減少に伴い、プラ・雑芥類が大きく減少し、年末や年度末でも搬入量が増えなかった。また汚泥に関しても期待していた搬入量を下回ったが、目標値に近い成果が出せた。



< 2023年度 目標 30,000 t >

### 取組内容

コロナも落ち着き、県内の動きがコロナ禍より活発になると予想される。情報収集に注力し、リサイクル提案、処理困難物の処分検討など、他社でできないものの獲得に注力するとともに、既存のお客様を第一にし、目標達成に向け業務に取り組む。

## 9. 化学物質の削減

2022年度 目標 119.0 ℓ  
 2022年度 実績 115.8 ℓ  
 達成率 102.7% (達成)

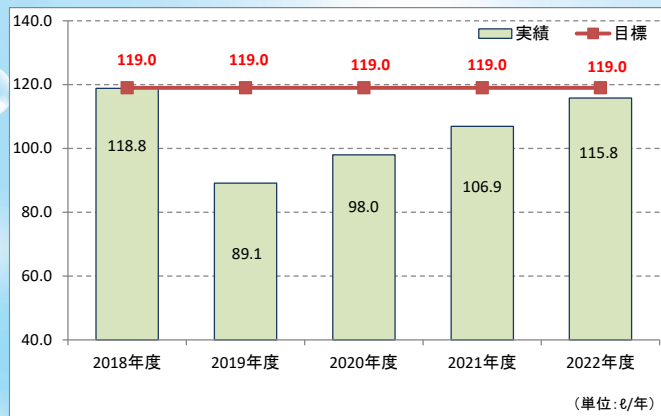
OK

### 取組内容

- ・ボイラーの運転状況を把握、監視し、薬品を適正な量で投入する。

### 活動結果と評価

- ・薬品の規定通りの投入により、適正な使用量にすることができた。



< 2023年度 目標 119.0 ℓ >

### 取組内容

引き続き、ボイラー水質や、ボイラー運転状況を監視し、投入量に過不足のない、適正な投入量になるよう努める。



## 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘もありません。

## 11. 代表者による全体の評価と見直し

### 1. 結果に対する評価

皆よく頑張ってくれました。大きくかけ離れた数値となった項目は見直すこと。

### 2. 全体の見直し

目標値の設定根拠（廃棄物の量÷バーナー台数×重油使用量、重機の台数×運転時間など）を明確に記載すること。報告の内容はより具体的に記載すること（例）「ゴミの均一化」や「作業時間の短縮」とは具体的に何を行うのか、など

### 3. 次期取り組みへの指示

期初に設定した目標値の設定根拠をよく把握し、各取り組みの活動を行う際は、その内容を踏まえた行動を行うことにより、目標達成を目指すこと。

環境に対する取り組みは、従業員一人ひとりにしっかり意識してもらうことでその結果が大きく違ってくる。なかなか実務に反映しにくい部分もあるが、課長や担当だけでなく、しっかり全従業員に伝えて取り組むこと。

## 12. イベント、セミナー、教育等

### イベント関係

実施日	実施項目	実施内容
5月24日から 6月9日	村内各所の美化ボランティア活動	保育園やこども園、小中学校などの公共施設16か所で草刈りなどを実施。
8月10日	環境整備活動	九戸インターから会社までのゴミ拾い活動
9月1日から 9月30日	環境報告会（事業報告会）	地域住民・県内企業を対象とした事業報告会 コロナ対策のため、資料の設置とホームページで公開する方法で実施

### セミナー・講習会

実施日	実施項目
4月21日、27日	ビジネスマナー講習
7月14日～15日	職場のコミュニケーションクレーム対応
8月24日、25日	産業廃棄物処理業行政手続きセミナー（収集運搬業・処分業）
8月26日	産業廃棄物処理業行政手続きセミナー廃棄物処理施設等の設置にかかる技術研修会
9月14日	メンタルヘルスラインケア研修
9月29日、30日	デジタル時代の情報管理
1月24日	「働き方改革」セミナー

教育・訓練

実施日	実施項目
4月19日、20日	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習
5月30日	刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育
6月7日	自由研削と石取替業務特別教育
6月29日	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
8月23日～26日	フォークリフト運転技能講習
11月4日～8日	車両系建設機械（整地）運転技能講習
11月28日、29日	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習
12月12日～15日	フォークリフト運転技能講習
3月14日、15日、17日	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習
3月27日、28日、30日	ボイラー実技講習会

## 美化ボランティア活動

施設の定期整備期間を利用し、2022年5月24日から6月9日までの14日間に、延べ人数72人で九戸村の保育園、小中学校、水道施設など全16施設の草刈りや枝払いを中心とした美化ボランティア活動を行いました。「村だけでは対応できない部分まできれいにしてもらった」と喜んでいただきました。



九戸中学校



江刺家小学校



伊保内保育園



ひめはたるこども園



戸田保育園



ふるさとの館



田代、山根、宇堂口、戸田、瀬月内、山屋の水道施設、九戸村の浄水場など



## 九戸村とCO<sub>2</sub>フリー電力に関する協定を締結

2022年3月4日、当社で発電した電力を九戸村役場庁舎に電力供給（電力の地産地消）を含めた協定を、九戸村、株式会社タクマエナジー、当社の3者で締結しました。

これは九戸村が目指す温室効果ガス排出量の削減および地域循環共生圏の構築に貢献し、地域の脱炭素化を推進することを目的としたものです。

そして同年10月、地域貢献として電気自動車と充電設備を九戸村に寄贈しました。この車は当社のゴミ処理による廃熱で発電したCO<sub>2</sub>フリー電力で走っています。



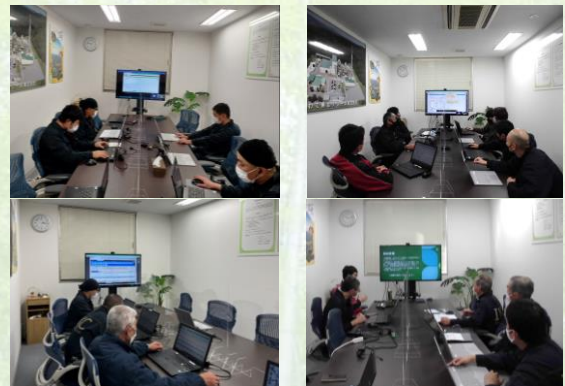
「CO<sub>2</sub>フリー電力の普及等に関する協定」調印式  
(左から、いわて県北クリーン・生藤社長、タクマエナジー・西村社長、岩手県九戸村・晴山裕康村長)

## 環境整備活動



2022年8月10日、九戸インター入口～道の駅おりつめ敷地内～当社までのゴミ拾い活動をしました。3年ぶりの行動制限のないお盆休みですので、気持ちよく帰省や旅行を楽しんでもらいたいと思いながらゴミを拾いました。

## ペーパーレスの推進と社員教育



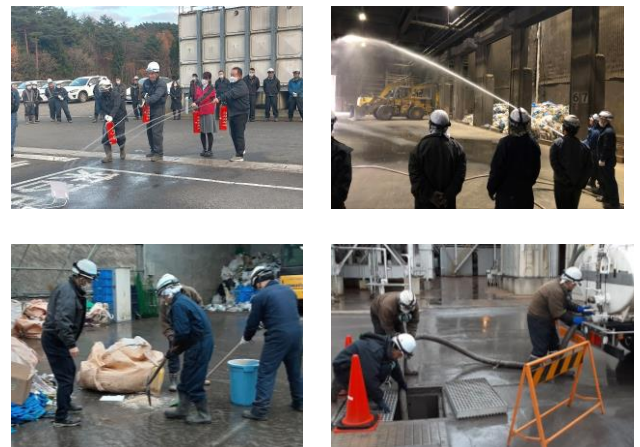
2022年11月、ペーパーレス推進のため、社員全員にPCによる申請方法の講習を実施しました。慣れてもらうまでは大変ですが、申請書が紙ベースではなくなったため、ミスプリントも発生しなくなり、大幅に紙の使用量が減少しました。

## 家庭ごみの無料受入



2023年2月1日から28日の間、地域貢献として、当社が立地する九戸村にお住まいの方限定で家庭ごみの無料受入を実施しました。**結果 572台 69t**の受入量となり、多くの方に喜んでいただきました。

## 各種訓練の定期実施



当施設では、避難訓練、消火器や消火栓を使った消火訓練、液体の廃棄物がこぼれたことや地震を想定した訓練など、非常時に的確な対応ができるよう、各種訓練を定期実施しています。

### 13. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
E C O	エコスタッフ講習	1名
	環境社会検定試験（ECO検定）	2名
	エコドライブ講習	1名
管 理 士	産業廃棄物処理施設技術管理士	2名
	一般廃棄物処理施設技術管理士	2名
	破碎・リサイクル施設技術管理士	1名
廃 棄 物	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	3名
	特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習（処分業課程）	1名
	特別管理産業廃棄物処分業の許可申請に関する講習（収集・運搬業課程）	2名
	産業廃棄物処理実務者研修会基礎コース	13名
ボ イ ラー	第2種ボイラー・タービン主任技術者	1名
	1級ボイラー技士	9名
	2級ボイラー技士	10名
	ボイラー整備士	1名
	ボイラー取扱従事者安全衛生教育	1名
電 気	第二種電気工事士	5名
	低圧電気取扱者教育	3名

	資 格 ・ 取 得	取得者数
危 険 物	甲種防火管理者	2名
	乙種第1類危険物取扱者	2名
	乙種第2類危険物取扱者	1名
	乙種第4類危険物取扱者	18名
	乙種第5類危険物取扱者	1名
	乙種第6類危険物取扱者	2名
	丙種危険物取扱者	6名
技 能 講 習 ・ ク レ ーン	高所作業車運転技能講習	4名
	車両系建設機械（整地等）	23名
	車両系建設機械（解体）※特例講習含む	22名
	フォークリフト技能講習	26名
	玉掛け技能講習	10名
	ガス溶接技能講習	21名
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	15名
	有機溶剤作業主任者技能講習	13名
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	14名
	小型移動式クレーン運転技能講習	6名
	床上操作式クレーン運転技能講習	1名
クレーン運転業務特別教育	20名	
特 別 教 育	ダイオキシン類ばく露防止特別教育	5名
	ダイオキシン類特別教育	35名
	安全衛生推進者養成講習	3名
	アーク溶接特別教育	18名
	粉じん作業特別教育	1名
	チェーンソー伐木業務特別教育	3名
	普通救急救命講習	44名
	自由研削用といし作業特別教育	6名
	刈払い機作業安全衛生教育	2名
	高所作業車運転技能講習特例講習	1名
	玉掛け特別教育	4人

【所在地案内図】



いわて県北クリーン株式会社  
(Iwate-Kenpoku Clean Co.,Ltd.)